

「麻薬を含む院外処方箋」の発行について

貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、当院の事業運営に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当院では、現在、麻薬を含む外来処方箋は、全て院内処方箋で調剤する運用になっています。

しかし井田病院を初め神奈川県下の多くの公立病院では、麻薬を含む処方箋についても院外処方での運用になっています。

こうした状況を鑑み、当院でも、平成23年4月1日から麻薬（測りこむ散剤・水薬を除く）を含む処方を院内処方から院外処方に変更させていただきますので、ご理解と御協力の程よろしくお願い致します。

院外処方対象麻薬は下記の通りです。

	薬品名	成分
内 用 薬	MS コンチン錠 10 mg、30 mg、60 mg	硫酸モルヒネ徐放剤
	カディアンカプセル 20 mg、30 mg	
	塩酸モルヒネ錠 10 mg	塩酸モルヒネ
	オプソ内服液 5 mg、10 mg	
	オキシコンチン錠 5 mg、20 mg	塩酸オキシコドン徐放剤
	オキノーム散 0.5% 2.5mg、5mg	塩酸オキシコドン
外 用 薬	アンペック坐剤 10 mg、20 mg	塩酸モルヒネ坐剤
	デュロテップ MT パッチ 2.1mg、4.2 mg、8.4 mg、12.6 mg、16.8 mg	経皮吸収型 フェンタニル貼付剤
	フェントステープ 1mg、2mg、4mg、6mg、8mg	経皮吸収型 フェンタニル貼付剤

平成23年2月25日

港北区薬剤師会御中

川崎市立川崎病院

院外処方箋の疑義照会の運用変更について

貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、当院の事業運営に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当院では、現在、院外処方箋の疑義照会は調剤する薬剤師の先生から当薬剤部で疑義照会を受付け、薬剤部から電話で処方医師に確認して、その結果を調剤薬局の薬剤師の先生にお伝えしております。

本来、疑義照会は調剤する薬局の先生から医師に直接行うものであります。

【平成21年12月 日本薬剤師会 医療事故防止検討会発行「医療安全のための薬局薬剤師と病院（診療所）薬剤師の連携推進事業総括報告書」から】
既に井田病院を初め神奈川県下の多くの公立病院では調剤薬局の先生方が直接処方医師に疑義照会をしております。

こうした状況を鑑み、平成23年4月1日から平日日勤帯（9：00～17：00）における院外処方箋についての疑義照会は調剤する薬局の先生から直接医師に行って頂く運用に変更させていただきます。

なお手術中など直接照会が不可能な場合は従来通り当院薬剤部で受け付けます。
また、変更内容等を FAX で送信して頂ければ、以降の処方又は調剤業務に反映させるよう働きかけを致します。

以上、ご理解、御協力の程よろしくお願い致します。